

と しょ か ん 宇 治

No. 64

2011 年 9 月 1 日 発 行

宇 治 市 中 央 図 書 館
〒611-0023 宇 治 市 折 居 台 1-1
0774 (39) 9256

宇 治 市 東 宇 治 図 書 館
〒611-0011 宇 治 市 五 ヶ 庄 三 番 割 36-5
0774 (39) 9182

宇 治 市 西 宇 治 図 書 館
〒611-0042 宇 治 市 小 倉 町 山 際 63-1
西 小 倉 地 域 福 祉 セ ン タ ー 3 階
0774 (39) 9226

図書館ホームページ <http://library.city.uji.kyoto.jp/> (携帯電話 <http://library.city.uji.kyoto.jp/i/>)



ストーリーテリングの 楽しさとともに

「おはなしたまてばこ」代表
近美 由利恵

「おはなしたまてばこ」は発足して二十二年になるストーリーテリング(素話)のサークルです。ストーリーテリングというの

は、語ろうと思うお話を探し、その話をすっかり覚えてから語るといふものです。私は十年ほど前に「たまてばこ」会員による「語り手養成講座」を受けてこのサークルに入ったのですが、それまでストーリーテリングなんて聞いたことも見たこともなく、お話を全部覚えて語ると知った時はとても驚きました。

それから歳月はあつという間に過ぎ、この十年の間に「たまてばこ」の活動の場は大きく広がり、図書館はもとより小学校・幼稚園・保育所・デイサービス・病院等にお話を届けに何うようになり

ました。お話を選び覚えて語る事は、どんなベテランの方でも楽な作業ではないと言われますが、それでも活動を続けられるのは、実際に語った時の楽しさを誰もが味わっているからではないでしょうか。

特に子ども達がおはなしの世界に浸りきってまっすぐな眼差しで語り手を見つめる時、こちらもできるだけ雑念を払い集中して語る

ことが出来る、本当に満たされた気持ちのお話し会になります。こんな時は「次はどんなお話を覚えようかしら」などと俄然元気がでてきます。

語り手・聞き手の立場を問わず素晴らしいストーリーテリングに出会い、我を忘れてお話の世界を楽しむ時、その場にいる人たちが言葉に出来ないような一体感を醸して、えもいわれぬ幸福感を味わえるように思います。おかげさか

もしれませんが、見えない絆を感じる瞬間です。そんなお話し会に一つでも多く出会うためにも、生き生きとしたお話を語れるようになりたいものです。

さてこの度、長年の活動に対し京都府図書館等連絡協議会より団体として功労者表彰を受けました。これからも変わらぬ歩みが続けて行こうと、会員全員が思いを新たにしているところです。

私達の活動を日頃から見守り支えて下さっている多くの方々に、この紙面をお借りして心から御礼申し上げます。

どうかストーリーテリングがい つまでも愛されるものであります ように。

おはなし会へ

ようこそ！

宇治市図書館では、ほぼ毎月おはなし会を開催しています。今回はそんなおはなし会の舞台裏を紹介いたします。

① 演目選び

絵本・紙芝居などで時節に合ったものや、興味を引きそうなものを考えて用意します。家庭での読み聞かせと違い、多くの子どもを相手にすることになるので、絵がはっきりとして見やすいもの・話が長すぎないものを、当日集まった子どもの年齢層に合わせて変更できるように、余裕を見て複数用意します。

② 練習

選んだ演目について、どんな風に演じればよいか、演じる順番をどうするか、また各演目の所要時間等を考えて練習をします。手遊びなどをするのであれば、それも練習しておきます。

③ 準備

当日の開催時間までに、会場の準備や配布物などを用意しておきます。

④ はじまりはじまり

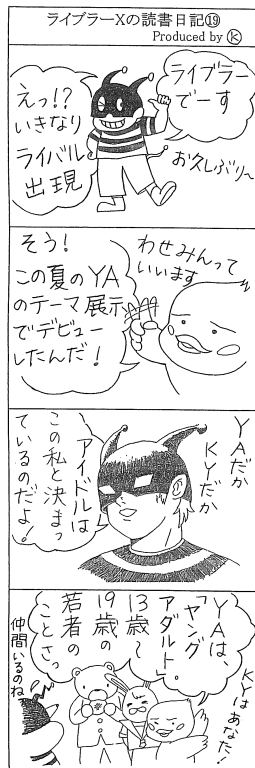
館内放送を入れる、館内で子ども達に声をかけるなどして子ども達が集まったからおはなし会の始まりです。

申込不要・無料で開催しておりますので、ぜひ図書館にお越しください。

おはなし会開催日程

他の行事などとの関係で変更・中止する場合があります。詳しい日程は市政だより1日号・図書館ホームページをご覧ください。

中央図書館	第一日曜日
東宇治図書館	第一水曜日
西宇治図書館	第三水曜日
また、サークル「おはなしたまたまばこ」によるおはなしのへやも開催しています。こちらは、素話（絵本などを使用しない語り聞かせ）をしていただいています。	
中央図書館	第三土曜日
東宇治図書館	第四水曜日
西宇治図書館	第一土曜日
時間はいつでも 午後3時30分～4時です。	



●さて、このコーナーの主役の座はどちらになるのかーっ!!

これで
あなたも
読書マニア

◇ 2011話題の本くっつけクイズ ◇

☆次の書名・著者名・賞を線で結ぶことができますか?気になる本があれば、ぜひ図書館へ借りにお越しください。貸出中の場合は予約をしてください。(解答は10月31日まで宇治市図書館 HP に掲載)

- ☞「尼僧とキューピッドの弓」
- ☞「ヤマトシジミの食卓」
- ☞「家族の勝手にしょ!」
- ☞「謎解きはディナーのあとで」
- ☞「下町ロケット」

- ・ / 吉田道子
- ・ / 岩村暢子
- ・ / 池井戸潤
- ・ / 多和田葉子
- ・ / 東川篤哉

- ☞ 第51回日本児童文学者協会賞
- ☞ 第145回直木賞
- ☞ 2011年本屋大賞
- ☞ 第21回紫式部文学賞
- ☞ 第2回辻静雄食文化賞



▲さんりんしゃのメンバーとじゅうたんコーナーで。
右端が石川さん

図書館へようこそ

雑誌 インタビュー

第 49 回

石川 幸子さん

今回は、図書館サークル登録団体の「サークル さんりんしゃ」の代表の石川幸子（いしかわ ゆきこ）さんに、活動状況などをお聞きしました。

館長（以下 K）…いつ、どのような動機でサークルを発足し、活動を始められましたか。また、サークル名称の由来があれば、お聞かせください。

I…石川さん（以下 I）…昭和 62 年 11 月に、宇治公民館での幼児家庭教育受講生の中から、学習を継続していくためのサークルとして、有志が集まり発足しました。サークル名の由来は、集まった会員の子ども達に、3 歳児が多かったこともあり、親子とみんなで「さんりんしゃ」のように、助け合って学習を続けていきたいという思いからつけました。

K…現在の会員は何名で活動をされていますか。

I…現在の会員数は 10 名ですが、子どもが大きくなって職業を持ち、昼間サークルに参加できる会員が少なくなつたため、実際は少人数で活動をしています。

K…今は、主にどこで、どのような活動をされていますか。

I…月 2 回、中央図書館の集会室を借用して、参加する事業の話し合いや作品の製作をしています。そして、図書館・幼稚園・老人ホーム・地域子ども会・公民館ふれあいサロンで、紙芝居やパネルシアター（ブックパネル）等を行うという、活動を続けています。

K…今まで活動をしてこられて、どのようなことが楽しく嬉しかったですか。また、逆に、どのような苦勞がありましたか。

I…作品を製作する際は、これはずも達が喜んでくれるだろうという題材を選んで、時間をかけて作りま上り盛りましたが、大変嬉しのですが、反対に、思ったほど子ども達の反応がなかったときは、がっかりします。今まで製作した中には、そのような事で、お蔵入りした作品がたくさんあります。

K…今後は、どのようなサークル活動を続けていこうとお考えですか。

I…細く長く継続することが、大切だと考えています。仕事をしながら活動をしている会員が多くいる中で、参加する行事をみんなまで話し合いながら続けていきたいと思っています。

K…今の公共図書館に対して、何かご意見や思っておられることがあれば、お聞かせください。

I…見やすく手に取りやすい配架や、迅速なサービスはもちろんのこと、みんなが気楽に利用できる場所、人と人が出会うことができ、学びあえる場であってほしいと思っています。

宇治市のより良い図書館づくりを望んでいます。

K…本日は、貴重なご意見を聞かせていただき、ありがとうございます。

I…これからも、このサークルがすえ長く活動が続けられることをお祈りいたします。図書館へのご支援・ご協力もお願いいたします。

本棚の中の宇治

和辻哲郎

「巨椋池の蓮」

八月のはじめ、夜の九時頃、「私のもとへ友人が「ひよつこりやつて来て、これから蓮の花を見に行かうといふ」。以前、巨椋池の蓮が話題にのぼった時、同行を頼んでいたのだ。お盆が近づくと、京都や大阪へ出荷されてしまうので、今がちょうど見ごろだとも。

もう一人の友人をさそったのが十時ごろというから、伏見へ出て橋のそばの宿屋に入った時には、十一時を過ぎていただろう。翌朝は三時におきて、宿屋の前から小舟に乗った。

まだ薄暗いなか、蓮の花や葉のあいだを進む。蓮の花が開く時の音などについて話をしていくうちに、船はいつしか広々とした池の中へ。

夜がほのぼのと明けはじめ、気がつく、「私たちは見渡す限

り蓮の花ばかりの世界のたゞ中にゐた」。

はじめは、白地に花びらの先が紅色に染まる「爪紅」の花。そして、船が進むと、逆に先が白い「底紅」の群落があらわれた。底が白い「紅蓮」や深紅の蓮を経て、やがてまったくの白蓮へ。くりだされる光景に圧倒されるばかりであった。

筆者、和辻哲郎は、『古寺巡礼』や『風土』をあらわした評論家として知られるが、本来は倫理学の研究者である。播州姫路郊外の医者の子で、中学卒業後上京。一高、東大と進み最後は東大教授となったが、大正末から数年間、京大助教授を勤めた時期がある。巨椋池をおとずれたのは、そのころのことであった。

「巨椋池の蓮」は、雑誌『新潮』昭和25年8月号にはじめて掲載された。彼の随筆中代表作のひとつとされ、宇治市図書館架蔵図書にかぎっても、『埋もれた日本』『和辻哲郎随筆集』『現代日本文学大系40』『日本随筆

紀行16露踏みわけて深草の里』昭和文学全集33』の5冊におさめられる。おすすめはやはり『埋もれた日本』。同時期の随筆・評論を集めたもので、「巨椋池の蓮」がその冒頭をかざる。

他がすべて現代仮名遣いに改められるのに対し、本書では著者執筆時の旧仮名遣いのまま。活版印刷特有の肌触り、インクの濃淡も味わい深い。

今秋、巨椋池は干拓完成70周年を迎える。歴史資料館ではこれを記念し、特別展「巨椋池―そして干拓は行われた」を開催。『新潮』昭和25年8月号も陳列する。(れきし・こじま)



巨椋池の蓮見

利用案内

・市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、貸出券を作ること
で一人十冊三週間、本が借りられます。
貸出券は全館共通です。図書館で借り
た本は市内のどこの図書館へも返却す
ることができます。

・図書館は九時から十七時まで開館して
います。休館日は毎週月曜日、第四木
曜日（いずれも祝日の場合は翌日）、
祝日の翌日（土・日曜日の場合は平日
に振替）、年末年始です。

・予約された本を市内四カ所の公共施設
（木幡公民館、横島コミュニティセン
ター、南宇治コミュニティセンター、
開地域福祉センター）で受け取ること
ができます。毎週一回、木曜日の午後
に搬送します。

・図書館で借りた本は右記の四カ所の公
共施設へは返却できません。

あ と が き

今回の紙面は、児童へのサービ
スが中心になりました。書物は、
人と人を、また、純真な心を未来
へとつなぐ大切な役割を担うかけ
橋ですね。図書館員も、さらなる
研鑽につとめたいものです。